

平成23年度 三島地域ふるさと創生基金事業 事業提案内容

No.	順位	分野	事業名	内容	実施団体	概算予算 (千円)
1		地域資源の再発見・活用	みしまの樹木 100選の再確認とその観察活用事業	97年5月18日から20日まで「三島町名木写真展」が開かれた。広報みしま97年5月号で「…町では、貴重な自然財であり、郷土の誇りである名木を次代に伝え、保護思想の醸成を図ることを目的に2年間にわたり現地調査による名木選定作業を進めてきた…」これを活用して、里山の自然観察道の充実と観察マップや案内板を整備する。		
2		歴史の再発見	地域の歴史記録	各集落の歴史の再確認・記録作業実施の推進・補助		
			地域再発見	三島には史跡など多くのものがあるので各町内会で小冊子にできないか。	町内会	
			上山藩と越後支領の七日市陣屋往還道のルート探索事業	上山藩と越後支領間は60里以上あると言われ、約1週間の日時を要した。三国街道中通と米沢街道を繋ぐ街道には越後と羽前の境に有名な難所「十三峠」超えがある。この全ルートを辿ることで、歴史と自然風土を探る貴重な体験ができる。 広い視野で三島地域の歴史を検証する。「協野町代官所」の歴史探求も必要		
3		文化の振興	よさこいまつり・和太鼓発表会	基金を利用したよさこい踊り、和太鼓の定期的な発表の場をもうける。他の地域とのコラボ、交流も図る。 コミセン祭りの開催時に合わせて発表したらどうか。		
			神楽舞後継者育成	どこにもあった神楽舞などが、だんだん少なくなってきたので、後継者を育成する事業		
4		観光の振興	地域資源と食のタイアップ	三島の観光資源と食とをタイアップさせてはどうか。食事をできる所はあるので、各店の得意な一品をPR。		
5		農業の振興	産業祭りの拡大	地域の農産物をもっと沢山出品してもらい即売市を開催する。		
			農産物直売施設事業 (JA、コミセン活動などとの連携)	三島地域に農産物直売施設を5箇所設ける。 地域には野菜を作る農家や住民が多い。また新鮮野菜を欲しいと思う家庭も多い。遠くのスーパーや直売施設に出かけて求めなくとも、誰でも歩いていける地域に施設を作ることによって両者の利便と経済効果を満足できる。泥付き根曲がり野菜歓迎、新鮮と格安が目玉。もったいない思想で野菜(山菜を含めても良い)を消費しよう。		
			農業後継者育成	農業に携わる後継者を育成する		
6		スポーツの振興	西山連峰登山マラソンおもてなし事業の継続	来年度、ランナーズICチップを導入することで、選手の参加費負担増になるため”おもてなし事業”に力を入れたい	マラソン大会実行委員会・各部会	
7		健康の増進	ウォーキング大会	三島地域を3区域程に分けてのウォーキング大会を実施する		
			元気だ三島！健康づくり	健康づくりは老若男女を問わず万人の願いである。三島にある「豊かな食」「豊かな自然」「スポーツ指向の高まり」「三島の施設や道路」を生かし、心と体の元気な住民が住む地域づくりを推進する。 ・連峰マラソンや体育祭・料理教室・福祉支援・健康ロードの看板やコース作り・子育て支援・クラブへの支援・健康測定	コミュニティセンターを中心とした各組織	
			自転車愛好の街づくり事業	三島地域は山間地が多いが、各集落は自転車で回れる平坦地。東部の旧長岡市境界付近からは妙高連山も望まれ、地域各所からはほぼ全県の山岳を見渡せる。地域住民全員で自転車利用の復活に取り組むことで、健康維持と交流の喜びも広げたい。 東部の田園地帯は舗装された農道が整備され、安全サイクリング道路といえる。 総合的な「自転車愛好の街づくり」を目指したい。		
			元気老人推進事業	三島でも少子高齢化や生活様式の多様化により、老人世帯が増加している。 自己都合で自宅介護が出来なくなり、老人施設での通所介護や入所される方が増加している。一方、元気老人を対象に各地でボランティアを中心とした、健康に対する講和や、昼食を囲んでの会話等が行われている町内もある。 新しい諸施設や調理室などを活用し、コミセンを主体に新しい視点で、内容の充実を図り元気老人が増えるような事業としたい。		

8	地域イベントの拡充	有名人の招待	H23 年度も千葉さん以外の、来て下さる方を招待して地域イベントの拡充を図ってほしいと思います。		
		福祉事業の拡充事業	コミュニティセンターも完成し、調理室もでき配食サービスも始まりますが、福祉事業の PR とご協力をお願いしたい。		
		丸太切り大会記念事業	20 回目の記念イベントを盛り上げる工夫、DVD を作成して遠隔地のデモンストレーションに参加する。 杉材を使った小物（壁掛け、敷物など）作りをするコーナーを設ける。のこぎりや刃物の即売会等も開催したらどうか。	丸太早切り実行委員会	
9	青少年健全育成	各種講演会の実施	人生の生き様、成功者、やる気を起こさせる力、自分だけでなく子、孫に助言、色々の部門の講演会を開かせて頂きたいと思います。		
		有名人などの講演会	各地域を回るキャラバン講演会を考えたらおもしろいと思う。		
		児童・生徒の自然観察とウォーク事業	各学校の学校林や里山での自然観察体験は極めて重要。さらに、森林内での作業体験で汗を流す体験も重要。 あわせて、ウォークの機会を増やしたい。日吉小学校の「さわらび遠足」に参加し 8 km 以上歩いた。15km くらい歩ける逞しい健康教室が望まれる。		
		青少年健全育成活動	健全な家庭、明るい家庭を推進する活動、家庭教育、学校教育、社会教育との連携、青少年の非行又事故防止等		
		防犯パトロール強化事業	三島地域においても学童の登下校時には、地域・PTA・学校が一体となって学童を安全に誘導されている姿を見かける。不審者への予防効果はもちろん、交通事故などの災害から学童を守る重要な意味があると思う。各町内の実情は違うと思いますが、共通認識を持って事業をより強化する必要がある。		
10	環境の美化活動	三島中心部の 12 橋巡り事業	脇野町、吉崎、上岩井、中条地域には黒川・小木城川・樽井川が合流している。中央公園を中心とした約 3 k m ² の中に 12 の橋がある。これらの橋と河川の景観は多様な趣がある。 町並み、背景としての山地や田園の佇まいも良い。これらの橋を巡る散策路を PR し、中央公園や体育館・みしま会館などの都市機能と一体にした「うるおいの 12 橋巡り」を活性化したい。 12 橋の範囲（名称＝南から）：上岩井橋、三島大橋、針ノ木橋、樽井川橋、門田橋、おさ橋、岩関道橋、小木城橋、鏡橋、米山橋、柳橋、緑橋。 さらに根立橋、一本橋、山本橋を含めて 15 橋としても良い。この一帯の道路沿いと空地に花を増やす緑化も良いし、樽井川の河床美化も進めたい。中央公園脇の調整池の美化（水生植物の池など）もできるか。		
11	花いっぱい運動	花いっぱい活動	各集落単位に花いっぱい拠点づくりを推進したい		
		花いっぱいフェア参加	サテライト会場に合わせて国道を 2 km 位に花いっぱいにする。特に脇野町地域でやってほしい 市のコンテストに参加してほしい 現在参加数 3 団体（蓮花寺 日吉小 みしま園）だけ	脇野町、上岩井町内会	
		花みずき団地に市民花壇を作ろう	花みずき公園の一角を利用するもいい。 みしま大橋～体育館の通りは町外からのお客様も多く人目につく。町のイメージを UP させる効果あり、又中央だけでなく各集落の空地を利用した花壇作りも推進したい（花苗、肥料の助成）		
		花いっぱい運動の事業の継続	三島地域全体でサテライト会場を盛り上げる。		
12	その他	文化講演会の開催	地域の広範囲の住民の気持ちを引き付ける 500～600 名程を集めることのできる講演会又は文化的催しの開催（落語含む） （地域住民の一体感の醸成を計る）		
		スーパーの誘致	歩いて若しくは自転車で気軽にいけるスーパーがない。特にお年寄りにとっては不便。誘致が無理なら“買物支援センター”なるものを設立して注文を受けボランティアが配達する方法はどうか		
		コミュニティの推進	コミセンを高齢者～子供等気軽に誰でもが寄られる場所にしてほしい。		
		地域で頑張っている人の話を聞こう	地域でそれぞれ頑張っている人の活動や思いを話す機会を設ける。		